

日本キリスト教文学会 ニュースレター

No1. 2020年7月15日

《目次》

- ・会長より
- ・2019年度事業報告
- ・2020年度事業計画
- ・会計報告(2019年度決算・2020年度予算)
- ・2021年度第50回全国大会について
- ・『キリスト教文学研究』投稿論文募集
- ・2020年度会費納入のお願い
- ・退会手続きについて

新型コロナ渦にある会員の皆様へ

会長 勝呂 奏

おさまる様子のない新型コロナの流行に、日常生活をさまざまに制約されていることと思います。2月の流行の始まりから、既に5ヶ月を迎えようとしています。緊急事態宣言の「自粛」生活を経験し、今は「新しい生活様式」を身に付けようとしています。第二波、第三波の流行などという耳にしたくない注意の喚起も聞こえてきます。やがて出口は見つかるのでしょうか、今のところはそれの知れないトンネルを歩かされている感じがします。せめてもの励ましは、このトンネルを行くのは一人ではなく、共に歩く仲間がいるということことです。

ところで、この新型コロナ渦のもと、本会も学会としての生命を脅かされています。「会則」に「キリスト教と文学の関係を研究し、会員相互の連絡を密にする」と目的を明記しますが、それを果たすための事業が中止になっています。ご承知のように、3月の月例

研究会、そして5月の清泉女学院大学(長野市)での全国大会です。発表者の方々がとても良い準備をされていたのを承知するので、残念でなりません。学会の生命である研究活動を続けるために、役員会ではメールによる会議を重ねているところです。今後の新型コロナの状況を見極めてのことにはなりますが、12月に研究会を持てるように可能性を探っています。秋口になると思いますが、良いお知らせができるようになることを念じています。同様に来年2021年度の全国大会も開催の道を探っていきます。

号数を重ねてきている『キリスト教文学研究』の発行も、研究活動の重要な事業です。キリスト教と文学に関する、日本文学と外国文学の論考が多数掲載される、本会ならではの機関誌として高く評価されています。会員が集っての研究会活動を持つことはできませんが、ぜひ日々の研鑽の成果を『キリスト教文学研究』に奮って投稿して下さい。来年度当初に発行を予定する第38号は本会が新型コロナ渦に屈することのなかった証しになると考えています。

遠くないことを信じる研究会、また全国大会で、再びお会いする機会の巡ってくるのを楽しみにしたいと思います。それまでは、今しばらくの「新しい生活様式」を守った日々を、お健やかに送り迎えられるよう、心からお祈り致します。

■2019年度事業報告

- ・『キリスト教文学研究』第36号の発行
- ・『会報』第52号の発行
- ・第48回全国大会の開催
(5月11日・12日、国際基督教大学)
- ・第446回月例研究会の開催
(9月14日、上智大学)
- ・第447回月例研究会の開催
(12月14日、日本聖書神学校)

■2020年度事業計画

- ・『キリスト教文学研究』第37号の発行
- ・『会報』第53号の発行
- ・第49回全国大会(清泉女学院大学)
→止む無く中止としました。
- ・第1回冬季研究大会(仮称)の開催*
(12月12日、日本聖書神学校)
- ・役員選挙の実施
*今後の状況によって開催の可否を判断。

■会計報告

本来であれば、全国大会の総会において承認されるべき2019年度決算ならびに2020年度予算(案)ですが、開催が中止となっていましたので、特例として役員会において承認されました。

2019年度決算報告ならびに2020年度予算のデータを3ページ、4ページに掲載しておりますのでご覧ください。なお、兼子盾夫氏と藤井仁奈氏が監査を担当しました。

■2021年度第50回全国大会について

2021年度第50回全国大会は5月8日(土)・9日(日)の日程で、東京の大妻女子大学での開催が予定されております。

今後の状況を鑑みて、追って詳細をご連絡いたします。

■『キリスト教文学研究』第38号

投稿論文募集

投稿論文の締め切りは10月31日(土)です。以下の「投稿規定」に従ってご応募ください(『キリスト教文学研究』第37号奥付ページにも掲載)。

- 1 論文は縦組みとし、1行26字で600行、400字詰め原稿用紙で30枚程度(タイトル、図版、注を含む)とする。見出しを設け、注は論文末にまとめる。
- 1 ワープロ原稿の場合、用紙はA4判を使用する。
- 1 執筆者以外が著作権を有する図版や写真を使用する場合、執筆者の責任において使用許可を取る。
- 1 応募原稿は、原則として電子ファイル(Word形式)で作成し、編集委員長宛に、①そのプリントしたものを1部、②電子データを提出する。①は郵送し、②は電子メールへの添付ないしは電子記憶媒体の郵送によって行う。なお、提出された応募原稿は、返却しない。

- 1 原稿には、タイトル、投稿者名、肩書を入れ、原稿に必ず通し番号を振る。氏名には、アルファベット表記(ローマ字表記)を必ず付す。
- 1 投稿者の連絡先(氏名、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス)を明記する。
- 1 投稿論文の締切りは、毎年10月末日(必着)とする。また、掲載になった場合は、印刷費などの費用として1万円(10部買い取り)を負担するものとする。

★投稿先〔以下にお問い合わせ下さい〕

*編集委員長・柴崎聰

Email: satosi-s@khaki.plala.or.jp

お手数ですが、同時に下記の2つのメールアドレスにもCCの送付をお願いします。

副編集委員長 田久保浩

h.takubo@tokushima-u.ac.jp

事務局長 尾崎るみ

ozakirumi@toyo.jp

■2020年度会費(一般会費6千円、学生会費3千円)納入のお願い

まだ納入がお済みでない方は至急お願いいたします。学生会員の方は所属機関名を通信欄にご記入ください。振替用紙を紛失した方は、郵便局備え付けの用紙に加入者名(日本キリスト教文学会)と払込口座番号(00160-8-97943)をご記入の上、ご利用ください。年会費についてのお問合せは事務局長に(ozakirumi@toyo.jp)お願いします。

■退会手続きについて

退会を希望する場合は、必ず書面(書式は自由)にて事務局までお申し出ください。3月末までに手続きが完了しない場合は、新年度の会費が発生しますので、ご注意願います。

日本キリスト教文学会事務局

〒194-0294 東京都町田市常盤町

3758 桜美林大学 崇貞館B428

勝呂奏研究室

Tel: 042-797-6636

Email: suguro@obirin.ac.jp

<http://nihonchristkyobungakkai.web.fc2.com>

*2019年度決算報告ならびに2020年度予算案データは、
ホームページ上での公開対象とはいたしません。